

立川

4

立川と語ろう 立川に生きよう
April 2009
écoutez bien Vol.27 No.293





夏でなくても召しませ



うな重(特)

とかく話題になったうなぎ。おかげでうなぎの産地は日本の西の方だということを改めて知った。産地にこだわると、値段の折り合いがつかなくて買わずに帰ることもしばしば。食べずに暮らすこともできるけれど、年に数回でも食べられたら嬉しい。新美南吉の童話『ごんぎつね』では、兵十が病気の母親に食べさせたくて川でうなぎを獲っている。日本にはそんな時代があったらしい。

そんなに高くないわよと聞いて、曙町にあるしら澤へ。まずは『お通し』と『うまき』。色鮮やかな2品が並ぶ。メニューにはないが、『白焼き』がおすすだそう。香の物をつまみながら、うなぎを蒸している時間、「まだかな……」と待つ。きゅうり、かぶのぬか漬けに、にんじんが色を添えた漬け物。白菜漬けは味がこなれてまるやかだ。

やがて、温めた皿に『白焼き』が、身が厚い。高さがある。本わさびを乗せて、しょうゆをちょっとつけていただく。時間をかけてゆっくり蒸したうなぎを香ばしくあぶったひと品。口の中でアツア



白焼き



お通し・うまき

ツの身がほどけ、さっぱりしているのに脂の旨味が口中に広がった。蒲焼きとはまったく別物。お酒によし、ごはんによし。

しら澤の『うな重(特)』は、ご飯とうなぎが別々になっている。うなぎがお重に入りきらないからだ。お皿にのったうなぎは2匹。香りと照りで、おいしそう。早く食べたいのを我慢して、まずはお重のふたを開け、タレをまぶしたご飯に1匹を乗せる。山椒をかける。この山椒がまたいい。深い緑で、目にまで香ってくる。もう一度、ふたを閉める。その間に、焼きたてのもう1匹を少しずつ味わう。ペタペタと唇にはり付くうなぎ独特のまったり感。やっぱりご飯が恋しくて、ご飯に乗せたうなぎはどうかとふたを開ければ、ほわ〜と漂うこれぞ『うな重』という香り。ご飯とうなぎを一緒に口に入れる。ふんわり柔らかいうなぎと粘り気のあるごはんが混ざり合っ、幸せだなあと思う。肝吸いをいただく。ゆずとミツバが口の中をさっぱりと洗い流してくれる。透き通ったお椀に肝とかまぼこ。うなぎはやっぱりごちそうだ。

一度きりの人生、精一杯生きたい



歌手

はいだ しょうこさん

■はいだ しょうこ／立川生まれ。両親とも音楽家。幼少期より作曲家の故中田喜直氏のもと童謡を学ぶ。宝塚音楽学校を「オペラ部門主席／ポピュラー部門最優秀歌唱受賞」など優秀な成績で卒業し、宝塚歌劇団入団。高い歌唱力で4年目には公演フィナーレをソロで飾るエトワールに。同歌劇団退団後、NHK「おかあさんといっしょ」の「第19代うたのおねえさん」に。2008年3月、「うたのおねえさん」を卒業、誰からも愛されるプロフェッショナルな歌手として活動をスタートした。現在、天王洲 銀河劇場にてブロードウェイミュージカル「回転木馬」に出演中。

■清水 恵美子／えくてびあん＆多摩ではコンセプト編集工房

於：カフェ ばくだん畑 写真：五来 孝平

清水 今日ではよろしくお願ひします。「えくてびあん」には小学生の頃ご登場いただきました。大人になられて、本当にきれい。
はいだ いえいえ、全然変わってないです。
清水 国立音大の付属高校から宝塚に入られたんですね。宝塚は厳しかったんじゃないですか？
はいだ 厳しかったですね。厳しいとは聞いていたんですけど、芸事の厳しさかと思ったら、上下関係だったりしきたりだったり、規律だったり。最初はそれにすごくびっくりしました。
清水 芸事の厳しさもあるんでしょう？
はいだ もちろんありました。朝からずっとレッスンがありました。数学のような勉強はないのですが、音楽理論とか芸術に関する授業もありました。
清水 歌劇団入団後、宝塚の舞台には何年

立たれていたのですか？
はいだ 5年です。
清水 その後すぐNHKの『うたのおねえさん』になられました。『うたのおねえさん』のイメージはすごく強くて、ファンも多いですね。おねえさん時代はどうでしたか？
はいだ 子どもが好きで、歌を歌うことも好きなので、すごく楽しくできました。
清水 うたのおにいさんとも、うまくかみ合ったのですか？
はいだ はい。体操のおにいさんやおねえさん、他のスタッフは以前からずっとやっていた方たちで、新しく入ったのが『うたのおにいさん』と『おねえさん』だけだったんです。それで、何でもふたりで助け合ってきたし、子どもを思う気持ちとか他の感覚もとても似ていたので……。
清水 コミュニケーションがうまくとれた

わけですね。昨年、『うたのおねえさん』を引退されましたが、今後はどんなふう活躍されていくのでしょうか？

はいだ うーん、いろいろなことに挑戦していきたいですね。

清水 すでにたくさんのことやられてるのに？ 舞台もやってきたし、『うたのおねえさん』として多くのファンもいる。

はいだ 自分の中で「歌」というものが芯にあるので、「歌」からブレることはありません。人生って一度きりだし、できるだけチャレンジして精一杯生きていきたいなっていうのもあります。いろいろなことを経験することで、自分も人間的に成長できると思いますし……。その中で「歌」ははずせないもので、一番自分を表現できるものだと思うんです。

清水 今回のミュージカル「回転木馬」では、どう自分を表現していきたいですか？

はいだ 久しぶりの大舞台で、しかも外国人の演出家の方なんです。ワークショップなどでも感じることで、自分では気づけない面を引き出してもらえるととか、すごく勉強になります。また、私が演じるのはキュートな少女の役で、思ったことをポンポンと言うんですね。天真爛漫に何でもポンポン正直に言うところ、は、挑戦だなあって思います。

清水 「回転木馬」の主演カップルは、思ったことを口に出せない、相手に自分の気持ちをうまく伝えられないもどかしい役柄ですよね？ そのふたりに対して、しょうこさんの役柄はポンポン言っちゃうわけですね？

はいだ そうですね。でも、とっても明るくておちゃめで、3枚目名のようなところもあり、自分に近い部分もあってとても楽しみです。でも、キャリアみたいにケンカはあまりしないからな……。

清水 そこが挑戦なんですか？

はいだ はい。私はまず基本的に「人見知り」なので……。

清水 お父さんの歌が一番だと思います。

はいだ はい(笑)。父も忙しかったですが、忙しいながらもいろいろな所に連れて行ってくれましたし、ご飯はみんな揃って食べようとか、クリスマスとかお誕生日などの行事は必ずみんなで集ってました。ですので、家族での会話はいっぱいありました。母親は歌をたくさん歌ってくれましたし、寝る前には本も読んでくれました。

清水 「回転木馬」に戻りますが、このミュージカルは対照的な夫婦の物語ですよね？ 見どころはどういうところでしょうか？

はいだ そうですね。主役の笹本玲奈さんと浦井健治さんのカップルと、私と坂元健児さんのカップルとが、恋愛のしかたなど、対照的。で、最後にお客様が色々な愛の形を、それぞれ感じるという考えさせられる。というところでしょうか。

清水 おもしろそう。劇中で歌われる歌も有名な曲だし、演出家の方もお稽古に入る前にワークショップをなさるなんて、ずいぶん力が入っていますよね。そういう大作に出演できるなんてすばらしい！

清水 ご姉妹は？

はいだ 姉がいます。小さい頃から母親と姉の後ろに隠れている子で、心配した両親が「この子は引込み思案だから、なにか自分を表現できる手段はないだろうか」とあれこれ考えていたそうです。そんな時に、おうちで歌を歌っているときだけ自分が前に出てくるよねということ。じゃ、この子に歌をやらせてみようというのがこの道のきっかけになりました。

清水 なるほど。今回の役はやはり勉強になるんでしょうね。ミュージカル以外には何をしてみたいですか？

はいだ 今、ファミリーコンサートが多いんですが、もちろんそれも続けながら、「はいだしょうこ」のコンサートをしてみたいです。オペラだったりミュージカルナンバーだったり、子どもたちにもおとなの人にも観てもらえるコンサートがやりたいです。子どもにも、子ども向けの歌だけでなくいろいろなジャンルの歌を聴いてもらいたいですね。

清水 5年間毎日子どもを見ているといろいろなことに気づくと思うのですが、子どもの変化など気づかれたことはありましたか？

はいだ そうですね。いつの時代も子どもは純粋で真っ白で変わらないと思います。子どもを取り巻く環境が変わってきているのではないかなと思います。ゲームなども増えてきていますが、家族で過ごす時間を大切にすることが必要だと思えますね。愛情たっぷりに育てていくとか、小さい頃からお話をしあげ、歌を歌ってあげる、やっぱりお母さん、お父さんの歌が一番だと思います。

清水 愛情を注いで育てる。しょうこさんのお宅はそうだったんでしょうね。

はいだ そうですね。家族で過ごすことが多くて……。

清水 お父様もいっしょに宝塚を観にいらっしゃるそうでものをね。

はいだ はい(笑)。父も忙しかったですが、忙しいながらもいろいろな所に連れて行ってくれましたし、ご飯はみんな揃って食べようとか、クリスマスとかお誕生日などの行事は必ずみんなで集ってました。ですので、家族での会話はいっぱいありました。母親は歌をたくさん歌ってくれましたし、寝る前には本も読んでくれました。

清水 「回転木馬」に戻りますが、このミュージカルは対照的な夫婦の物語ですよね？ 見どころはどういうところでしょうか？

はいだ そうですね。主役の笹本玲奈さんと浦井健治さんのカップルと、私と坂元健児さんのカップルとが、恋愛のしかたなど、対照的。で、最後にお客様が色々な愛の形を、それぞれ感じるという考えさせられる。というところでしょうか。

清水 おもしろそう。劇中で歌われる歌も有名な曲だし、演出家の方もお稽古に入る前にワークショップをなさるなんて、ずいぶん力が入っていますよね。そういう大作に出演できるなんてすばらしい！

はいだ はい。幸せに思います。
清水 それにしても、しょうこさんは美人だからおとなっぽいイメージだったんですけど、話すとかわいい方なんです(笑)。
はいだ 話すときと違っちゃってよく言われます。しゃべらない方がいいって言われます(笑)。
清水 天は二物を与えずって言うけれど、3つも4つも与えていますよ。
はいだ 絵はヘタですけれど……(笑)。

清水 おもしろそう。劇中で歌われる歌も有名な曲だし、演出家の方もお稽古に入る前にワークショップをなさるなんて、ずいぶん力が入っていますよね。そういう大作に出演できるなんてすばらしい！

はいだ はい。幸せに思います。

清水 それにしても、しょうこさんは美人だからおとなっぽいイメージだったんですけど、話すとかわいい方なんです(笑)。

はいだ 話すときと違っちゃってよく言われます。しゃべらない方がいいって言われます(笑)。

清水 天は二物を与えずって言うけれど、3つも4つも与えていますよ。

はいだ 絵はヘタですけれど……(笑)。

清水 愛情を注いで育てる。しょうこさんのお宅はそうだったんでしょうね。

はいだ そうですね。家族で過ごすことが多くて……。

清水 お父様もいっしょに宝塚を観にいらっしゃるそうでものをね。

はいだ はい(笑)。父も忙しかったですが、忙しいながらもいろいろな所に連れて行ってくれましたし、ご飯はみんな揃って食べようとか、クリスマスとかお誕生日などの行事は必ずみんなで集ってました。ですので、家族での会話はいっぱいありました。母親は歌をたくさん歌ってくれましたし、寝る前には本も読んでくれました。

清水 「回転木馬」に戻りますが、このミュージカルは対照的な夫婦の物語ですよね？ 見どころはどういうところでしょうか？

はいだ そうですね。主役の笹本玲奈さんと浦井健治さんのカップルと、私と坂元健児さんのカップルとが、恋愛のしかたなど、対照的。で、最後にお客様が色々な愛の形を、それぞれ感じるという考えさせられる。というところでしょうか。

清水 おもしろそう。劇中で歌われる歌も有名な曲だし、演出家の方もお稽古に入る前にワークショップをなさるなんて、ずいぶん力が入っていますよね。そういう大作に出演できるなんてすばらしい！

はいだ はい。幸せに思います。



一級建築士事務所 株式会社ホーミー	522-2220
カフェ・貸しホール ばくだん畑	522-2214
Cafe Cuisson	090-6935-1227
有限会社 白 洋 舎	522-5952
波 多 野 米 店	522-2884
立川市社会福祉協議会市民活動センターたちかわ	529-8323
桜井電材株式会社	523-5281
立川歴史民俗資料館	525-0860
乙黒東洋整骨院	523-1859
室内装飾専門店 株式会社 アイアイ	522-5972
多摩信用金庫 富士見町支店	528-1741
酒 ESPOA おぎの	522-4500
株式会社 立川印刷所	524-3268
手打ちもとおか	528-2345
松 栄 寿 司	524-6958
陸上自衛隊 立川駐屯地	524-9321
独立行政法人 国立国語研究所	540-4300
花みどり文化センター	528-1751
昭和天皇記念館	540-0429
ハウジングワールド立川	527-1321
えくてびあんの輪	
立川と語ろう 立川に生きよう えくてびあんは リストのお店にいつもあります	
今月は 富士見町・緑町・泉町・西砂町・一番町・上砂町・砂川町・柏町・幸町のお店です。	
東京消防庁 立川消防署	526-0119
パティスリー プルミエール	531-4835
有限会社 東京きのこ社	531-5625
パン工房 ゼルコバ	560-4544
CHINESE DINER 陶 桃	531-3100
フレッシュグリーン 八百賢	531-5164
fresh shop スーパーはしもと	536-2331
JA 経済センター 立川店	536-1824
JA 東京みどり 立川支店	536-1821
陶 工 房 己 流 庵	537-6102
多摩信用金庫 砂川支店	535-4411
山梨中央銀行 立川支店	536-0871
超こってりらーめん パワー軒	535-1665
ベーカリー リオンドール	535-4882
ピーコック 玉川上水店	538-3861
菅 家 医 院	536-4602
うなぎ専門店 うなちゃん	536-6240
立川農産物直売所	536-2439
いなげや 立川栄町店	537-1820
多摩信用金庫 幸町支店	535-5311

立川から愛をこめて

山下洋輔+XUXU+ぶらん・え・ぶらん
立川ゆかりのバレンタインコンサート

2月14日、立川市市民会館・アミュたちかわでコンサートが開かれた。
世界的ジャズピアニストの山下洋輔さん、女性4人のアカペラグループXUXU(シュシュ)、
ヴィブラフォンの女性デュオぶらん・え・ぶらん。
出演者のほとんどが国立音楽大学出身で立川ゆかりの音楽家ばかり。
当夜はクラシックの名曲などをごきげんなジャズのテイストで聴かせてくれた。
山下さんと6人の女性たちが、立川から音楽の愛をこめて……。

写真：五来孝平



市民会館を運営する立川市地域文化振興財団の設立20周年を記念した企画。母校で教えるとともに立川の住民でもある山下洋輔さんをはじめ、ほぼ全員が学生時代を立川やその周辺で過ごした思い出がある。ヨーロッパツアーなどでも活躍するXUXUは立川で結成され、立川駅北口デッキや国営昭和記念公園でも歌っていた。いわば立川への里帰り公演。

第1部は、両手に2本ずつのマレットを持ち2台のヴィブラフォンで表情豊かで澄み切ったサウンドを紡ぎ出すぶらん・え・ぶらん、プログラムにはなかった「マイ・ファニー・バレンタイン」を含めて時に激しく、時に繊細な山下さんのピアノソロ。第2部は摩訶不思議なスキヤット「XUXU語」でクラシック、ジャズ、ポップスを独自のサウンドにしてしまうXUXUのボーカル。さらにXUXUと山下洋輔さんとの共演。

圧巻は、今年の山下洋輔ニューイヤーコンサートで初演された筒井康隆「ダンシング・ヴァニティ」による交響詩。このコンサートに筒井氏直々の指名で出演したXUXUが、オーケストラではなく作曲者の山下洋輔さんのピアノと共演した「アミュたちかわバージョン」だ。不条理かつ緻密な筒井原作の言葉をXUXUが歌い上げ、ピアノが戯れるように言葉に絡んだり、沈黙したり一気に駆け上がった……スリリングで美しい音の世界を繰り広げた。

コンサート終了後には出演者全員によるCDサイン会も行われ、「地元」ならではの和やかな雰囲気。ちょっとぜいたくな気分になれたバレンタインデーの夕だった。



立川の話 いっぱい！
わたしとあなたとたちかわを結ぶ街ナビネット
多摩てばこnet
www.tamatebakonet.jp/

立川市曙町3-4-3 武藤ビル2F
TEL/042-548-9606

常楽我浄
真如苑提供番組くじょうらくがじょう
スカパーフェクトTV 216ch
マイ・テレビ11ch
放送時間については番組表をご確認ください。

立川に育てられて七十三年
真如苑
柴崎町1-2-13 Tel. 527-0111(代)
www.shinnyo-en.or.jp

パレスホテル立川
〒190-0012 東京都立川市曙町2-40-15

お問い合わせ、ご予約は
TEL 042-527-1111
FAX 042-527-5169
http://www.palece-t.co.jp

FM84.4MHz
FMたちかわ
おとやもとなり
音楽屋元就の
多摩てばこラジオ
日曜午前 11:00~11:30
提供：えくてびあん
●リクエスト・ご意見は●
tbox@fm844.jp

伝承を使命とする指輪産業の一端を担う大廣社は、新しい時代の新しい表現を責任を持って拓くために、クリエイティブから最終製品にいたるまでの一貫体制を構築しています。

クイックタイプから最終製品にいたるまでの一貫体制を構築しています。

株式会社 大廣社
〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-13
tel. 042-527-1911 fax. 042-527-1949
E-mail info@daikousya.jp
http://www.daikousya.jp/index.html

えくてびあん流

〈立川の四季〉オリジナルpost-card 発売

昨年7月号でお届けした〈岸中さんの庭〉。幸町の、急激に宅地化するなか、樹々がこんもり繁る一画。以前は玉川上水までずっと緑の雑木林が続いていました。そのおかげを少しでも残したいと、岸中さんが立ち上げたNPO法人「グリーンサンクチュアリー 悠」。近隣の農家を中心になって行っている農業体験など、農地保全を図る動きとひとつになって、虫やカエル、野鳥など野生の生き物の聖域となっています。NHKの「素敵にガーデニング」でも取り上げられ、地味ですがコツコツと里山作りは続けられています。



えくてびあんでは〈岸中さんの庭〉を通じて、武蔵野の原風景ともいえる立川の自然を未来に残すため、写真で記録を撮り続けています。この度、そのほんの一部を「立川の四季」と題してポストカードにしました。四季折々12枚セットで1000円となっております。購入ご希望の方は、お電話でお申し込みください。

◆ポストカード申込先：えくてびあん編集工房 042-528-0082
限定製作品なので、売り切れた場合はご容赦くださいませ。

この人この店[®]

zakka shop TAWAWA

宮本 直花さん

いくつになっても惹かれてしまうのが雑貨。キッチンまわりの品々が、機能的でかつかわいかったりスタイリッシュだったりすれば、なんだか1日が楽しくなりそう。ガーデニングもかわいい手袋と一緒にらもっと楽しい。TAWAWAさんにはそんな雑貨がいっぱいです。

TAWAWA オリジナル商品は、布のポーチやお財布、カード入れにバックなど。店長の宮本直花さんと妹のTUKUMIさんの手作りです。イラストレーターでもあるTUKUMIさん。動物のモチーフでかわいい人形も作ります。まったく同じものはない1品もの。丁寧な仕事に感心するばかり。花柄のたてがみを持つ黄色いライオンがこっちを見ている。布のてるてるぼうずも、かわいいじゃない！お弁当に欠かせないおかずカップ。紙だと思っただけで、シリコンカップならまた使えて経済的。ワックスペーパーやビーズ、おもちゃ、バス用品。いつまでいても飽きません。



〒190-0022
立川市錦町1-5-34 錦町ゆうゆう館2F
TEL 042-528-6181
営業時間 12:00~20:00



写真撮影：五来孝平

みどり巡り花めぐり

植物を楽しむ③

身近な春の恵みを味わう

緑花文化士 白井治子 (写真も)



ナズナ

木や草の芽が萌え始め、命の息吹を感じ始める4月、身近な野草が食卓を彩ります。

河岸段丘の下に位置する小さな畑のまわりには、春の声が聞こえてくるとたくさんのおいしそうな野草が姿を現します。

ノビル、ナズナ、フキノトウ、ヨモギ、ハコベ、クコ等々……。

いつも春が来ると「ノビロが出てくるから、採ってきてくれ」とおばあさんから頼まれ、大きくて柔らかなノビルをたくさん摘んできました。それを洗い、青い葉も球根もざくざくと切り、おからを炒って醤油と砂糖で味をつけ、焼いた鯖の身をほぐしてノビルと一緒に汁気がなくなるまで炒りつけます。ご飯にかけて食べると春の香りが口いっぱいに広がるこのそぼろは懐かしいおばあさんの味です。今年は久しぶりにあの味を再現してみようと思います。

多摩川に続く平地には、まだ少しですが田んぼが広がっています。田起こしをする前の田んぼにも美味しそうな野草がいっぱいです。売っているもののように立派ではありませんが赤みを帯びたセリの若葉は、摘むと手の中で匂いたつようです。これはさっと湯がいて油揚げといっしょに炊き上がる寸前のご飯に混ぜてセリご飯にしましょう。レンゲの花も茹でて、三杯酢であえます。

ナズナは七草の頃に比べ、大きく成長し、白くてかわいい花をたくさんつけ始めました。「なずな売り もとはただだと値切られる」と川柳にうたわれるように、江戸時代には普通に季節の菜として食べられていたのだそうです。小さいときにはペンペングサと呼んで実で遊んでいましたが、場所によっては実の形が三味線のバチに似ているのでバチクサとか、巾着に似るとジジノキンチャクと呼ぶところもあるようで、民間薬としても利尿や目の充血などにも使われています。

古来から人々は、春の訪れとともに野に出てその恵みをいただいていたのでしょうか。私も自然に感謝して、春のおいしさをいただきたいと思います。

information

●緑花文化士は、「緑・花 試験(緑・花文化の知識認定試験)」で優秀な成績をとられた方に贈られる称号です。22年度以降の新たな展開を期し今年11月がファイナルとなる同試験や緑花文化士について、詳しいことはホームページ <http://www.midori-hanabunka.jp> で。

●国営昭和記念公園 花みどり文化センターでは、緑花文化士による「緑・花文化を楽しむ講習会」や展示会が開催されています。4月は14日(月)は柴田規夫さんの講師で「チューリップ・球根植物の世界」、19日(土)は鈴木泰さんの講師で「球根と宿根草の庭づくり」を予定。詳しくは国営昭和記念公園花みどり文化センター(電話：042-526-8787)までお問合せ下さい。

表紙の人

奥山八重子さん(富士見町)

JR青梅線の踏切脇、リフォーム会社の2階にあるカフェ「ばくだん畑」の美しいあるじがこちら。ユニークな店名はまだ踏切のない頃の辺りがそう呼ばれていたことにちなむ。父は以前表紙にもご登場いただいた草野忠正さん。この方も基地の街から大きく変貌した立川を見て育った。アーリーアメリカン調でステージ付きの店内は、バンドを持ち内装は本業のご主人作。おいしいケーキや食事。他にダンスや音楽の場になるスタジオも。小さいながら立川の文化拠点なのである。

「ばくだん畑」で 写真：細江英公

かたこと

記録的な暖冬だったという今年。本号がお手許に届く頃はもう桜が咲いているでしょうか？▼日本の春は桜です。この季節になると、あちこちの桜の名所ツアーが人気を集めます▼立川でも国営昭和記念公園や根川緑道、残堀川沿いなどの桜スポットが賑わいます▼そういう賑わいはありませんが昭和記念公園昭島側の未公開区域にある山桜も風情があります。米軍基地が返還され鳥が落ちていった種から芽生え大きくなった桜▼4月は新入学や就職など新しい世界に出発する時でもあります。実生の桜のように美しくたくましく育ちますように▼対談はNHK「うたのおねえさん」から、歌に舞台にと活躍の場を広げるはいだしょうこさん。美しくたくましく、さらに輝くでしょう▼VIEWでご紹介したバレンタインコンサート。山下洋輔さんは申すまでもありません。XUXU、ぶらん・え・ぶらん、いずれも立川から音楽の世界に羽ばたいています▼その方たちが青春を過ごしたくふるさと立川を大切に思っている。素晴らしいことだと思います▼桜の花だけでなく、草木や鳥や動物たち、一斉に動きだす季節。「えくてびあん」も力いっぱい動いて、素敵な立川をお届けしていかなければ……(芳)

スタッフ

編集 大久保清志/清水恵美子/中薫子
デザイン 池田隆男(WATER DESIGN ASSOCIATES)
AMNET design factory
写真 五来孝平

えくてびあん (C) 4月号

第27巻 通巻293号
平成21年4月1日発行
発行 えくてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
編集人 芳賀敬博
発行人 黒須環
印刷 (株)大廣社

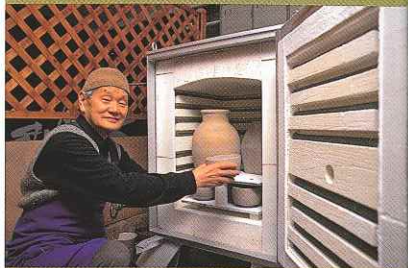
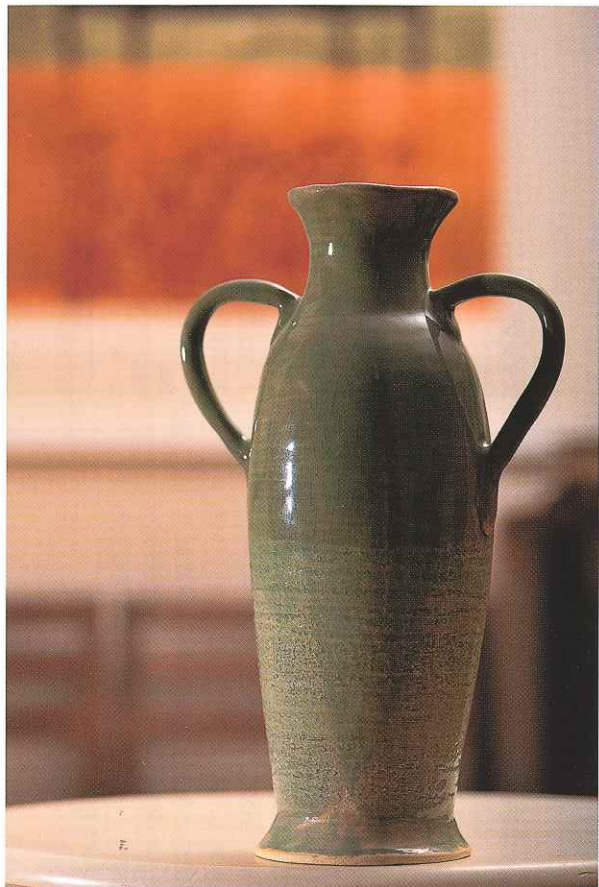
無断転載を禁じます。

さんしゃさんよう

三酒二窯

立川やきもの談義 二

中野誠一さん (富士見町) 上



陶歴は二十年ほどになりますか。幸福社会館の陶芸教室からです。お茶をやっていたので自分で使う道具を作れたらいいなと思って始めたのですが、やるほどに奥が深い。茶器のほか皿や瓶なども好きです。土をこねて形を作り、乾かし、素焼きをして釉薬を考える。その時間を楽しんでいるのかもしれない。窯は自宅裏の電気窯。出てきがかかりやすいのですが、たまに思いがけず面白いものもある。だからやめられないのでしょうね。

